

浮世絵世界華やかに

登米伊達家の収集品展示

登米伊達家十四代当主伊達寧裕氏の浮世絵コレクションなどの企画展「浮世絵 美の競演」のオープニングセレモニーが2月8日、登米懐古館で開かれました。

企画展は、江戸時代中期から明治期に活躍した浮世絵師の美人画、歌舞伎の場面などの作品や当時のかんざしなどの装飾品を展示。来場した高田秀幸さん(55)＝仙台市泉区＝は「建築家の隈研吾さんが設計した建物を見に来ました。建物はもちろん美術品の展示の仕方も素晴らしく、地方にも貴重な美術品がそろっていると知りました。浮世絵以外の企画展にも来てみたいです」と建物や浮世絵世界の美を堪能していました。



来場者は、髪の本一本まで丁寧に描かれた色鮮やかな浮世絵や華やかな装飾品などに、興味深い様子で見入っていました。

登米産の牛肉に舌鼓

市内小・中学校給食で提供

「登米産牛の学校給食提供」が昨年11月15、本年1月24、29、30日に、市内の小・中学校で実施されました。

給食での提供は、本市が本州最大の肉用牛の産地であることから、特産品を味わい、食育を通じて登米産牛肉の消費拡大と地産地消を推進することが目的。児童・生徒は、市内産の仙台牛や仙台黒毛和牛を使用した給食に舌鼓を打ちました。石森小2年の佐藤晴琉君は「登米産牛の給食を楽しみにしていました。登米市にこんなおいしい牛肉があるとは知らなかった。ご飯と一緒に食べたらすごくおいしかったので、また食べたいです」と笑顔を見せていました。



石森小学校では、1月29日に登米産仙台牛の牛丼がメニューに。「やわらかくておいしい」と味わって食べていました。

一年の火伏せを願う

世界の宝米川の水かぶり

ユネスコ無形文化遺産の「米川の水かぶり」は2月9日、東和町米川地内で開かれ、すすを顔に付け、わら装束を身に着けた男衆が秋葉山大権現に祈願後、家々の屋根に水を掛けながら、火伏せを願いました。

法輪山大慈寺境内では、米山町の丸山太鼓や津山町の横山火伏の獅子舞が披露される中、市シティプロモーション「とめはっとキャラバンカー」、みやぎ応援ポケモン「ラプラス」バルーンも登場。男衆が奇声を上げ、家々に水を掛ける姿をカメラに収めようとする人や火伏せのお守りとしてわらを引き抜く人たちなど、約4千人の来場者でにぎわいました。



米川の水かぶりは800年以上語り継がれる伝統行事。男衆は火伏せを願い、屋根高くまで水を掛けながら街中を練り歩きました。

健康をみんなで守る

元気とめ!健康づくり宣言

「元気とめ!健康フォーラム～市民健康づくり宣言～」は2月1日、登米祝祭劇場で開かれ、地域住民や関係機関・団体など約470人が参加しました。

フォーラムでは、運動、減塩や喫煙など7つの行動目標を盛り込んだ「元気とめ!健康づくり宣言」を発表。策定に携わった桜美林大学教授で市健康なまちづくり推進協議会の芳賀博会長は「笑顔で健やかな暮らしを送るためには、健康であることが大事。健康づくりを他人事ではなく自分事として捉え、多くの人に広めながら実践してほしい」と述べました。参加者は全員で宣言文を唱和し、地域ぐるみで活動することを誓いました。



市民健康づくり宣言の策定に携わった団体などが、7つの行動目標を発表。参加者全員で唱和し、健康意識を高めました。

東京五輪合宿に向け

理解深める市民公開講演

東京2020オリンピックに出場するポーランドポートチームの事前合宿受け入れに向けた「市民公開講演会」が2月25日、ホテルニューグランドヴィアで開かれました。

講演会は、市民にポーランド共和国の理解を深めてもらいたいと、東京オリンピック・ポーランドポートチームを応援する会が企画し、ノンフィクション作家の河添恵子さんを講師に迎えて開催。参加した佐沼高ポート部で主将の阿部快飛さん(17)＝迫町江合＝は「日本とのつながりの歴史を学ぶことができてよかった。代表選手と話す機会があったら、どんな練習をしているか聞いてみたいです」と期待を膨らませていました。



河添さんは「日本とポーランドの1世紀以上続く美しい絆」と題し講演。数奇な運命から生まれた絆の歴史などについて話しました。

人を結ぶ音楽の空間

商業施設に思い出ピアノ

市ストリートピアノ設置モデル事業「思い出ピアノ」設置イベントは2月1日、イオンタウン佐沼で開かれ、セントラルコートに設置されたピアノの美しい音色に、多くの来場者が耳を澄ませました。

ピアノは、1963年に旧東和町に寄贈され、米川小や旧鱒淵小で長年多くの子供たちに親しまれてきたもの。来場者なら誰でも自由に演奏を楽しむことができます。設置を記念し、演奏を披露した米川小4年の金野陽菜子さんは「気軽に演奏を楽しめる場所ができてうれしい。みんなでたくさん演奏をして、笑顔いっぱい場所になってくれたら」と胸をときめかせました。



設置イベントでは、米川小や錦織小の児童が演奏を披露。ピアノは誰でも自由に演奏することができます。